

第6回唐津市相知市民センター庁舎改築等検討委員会会議概要

1 会議の年月日および場所

令和4年2月16日（水）

唐津市相知市民センター本館2階 大会議室

2 開会および閉会の時刻

18時～19時30分

3 委員の出席状況（出席 12名、欠席 6名）

小野 史朗 委員長（相知地区行政連絡員会）

坂本 等 委員（相知地区行政連絡員会）

田原 誠一 委員（相知地区行政連絡員会）

馬場崎 武 委員（相知地区行政連絡員会）

佐伯 歩 委員（唐津農業協同組合）

峯 好一 委員（唐津市老人クラブ連合会相知支部）

塚邊 則子 委員（相知地区民生委員・児童委員協議会）

井手 康之 委員（唐津市消防団相知支団）

中武 友子 委員（相知町地域婦人会）

白石 和江 委員（伊岐佐小学校育友会）

梅野 一也 委員（唐津市社会福祉協議会南部支所）

田中 智夫 委員（特定非営利活動法人よかところ相知）

4 市職員の出席状況

黒木市民センター長、山崎総務・福祉課長、田口産業・教育課長

山下総務係長、江里総務係長

石田公共施設再編推進課長、岡田公共施設再編係長

5 会議の概要

(1) 開会

(2) 市民センター長のあいさつ

第5回本委員会の開催以降、施設の複合化に関連して相知図書館の課題や第

2次唐津市総合計画における公共施設のあり方において、将来の人口規模や公共施設の適正配置、税収の減少による財源不足など、中長期的な視点により慎重な検討を行う必要があるという判断が示され、相知地域の将来像を踏まえ、規模や機能を含めた庁舎のあり方について、今一度立ち止まって、慎重な検討を行う必要が出てきた。そのような中、現在地が浸水想定区域と位置づけられる新たな課題も出てきたが、図書館の方向性や公共施設再配置計画の改訂案が示されたので、今回の会議を開催した。

(3) 協議・報告事項

ア 検討委員会におけるこれまでの検討状況について

第5回までの相知市民センター庁舎改築等検討委員会における検討内容等について資料1に基づき、説明した。

イ 唐津市公共施設再配置計画（改訂案）について

唐津市公共施設再配置計画改訂案に基づき、公共建築物の削減目標や耐震性を有しない相知市民センター本館では、来庁者の安全性が担保できないため、個別施設の方向性として、短期計画で別館への機能移転、本館解体、長期計画で建て替える位置づけとしたことを説明した。

ウ 質疑・応答

【委員】

図書館がなぜ「市域に一つの配置とする」となっているのか。また、資料1では、「図書サービスのビジョンとして、東部（浜玉）、西部（呼子）、南部（相知）エリアに図書サービスの拠点を設け分室とし、司書を配置。相知図書館は複合施設に移転後、分室とすることを目指す」と書かれているが、資料2では、「他の公共施設等へ機能移転し、用途廃止」となっている。整合性がないようだが。

【事務局等】

公共施設再配置計画の中で、図書館は「市域に一つの配置とする」という方向性が示されたのが、平成30年の計画策定時からである。

市内には、近代図書館があり、相知に相知図書館、他の市民センター管内

には公民館図書室という位置づけで設置されており、他の地区とのバランスをどうしようかと考えた。さらに市自体が多くの公共建築物を所有しているため、更新するに当たっては、施設を複合化する方針となっている。図書館、図書室の名称には、当然こだわりがあり、図書館として残したいとのことだった。当時の教育委員会の結論として図書館分室という形に残し、公民館図書室でなく、図書館の一部として図書館機能を損なわないよう配慮した。結果として、浜玉、呼子、相知、この三つを図書館の拠点の一つとして位置づけ、図書館機能を損なわずに維持するという形で図書サービス計画に定めたところである。

整合性の部分は、他の公共施設に機能は維持したまま移転し、相知図書館の用途を廃止して、図書館の分室として残すという方向性を図書サービス計画で示していることから、公共施設再配置計画にそこまでは明記していない。

【委員】

既存の図書館は、そのまま存続するという形に変えて欲しい。相知町民の文化性は高く、誇りに思っている。相知町民として図書館を持っている。先輩たちから伝えられた我々の誇りです。市町村合併したら図書館という住民の文化の拠点を市域に一つにすると。子供たちに図書室に行くではなく、図書館に行くという、この響きが住民にとって、最高の、私は相知人という誇りです。訂正してほしい。

【事務局等】

図書館を市域に一つの配置とするという方針は、今回、変えたわけではなく前回、平成30年の策定時に相知を含め、様々な協議会で説明し、そこで了承を受けたもの。この表現は、そのままさせてほしい。

【委員】

実は、図書館のこの問題が表に出て、図書館存続委員会なる有志が集まって、存続させようと市へ意見具申した。市民センターからは本庁が、教育委員会がしないとの答えだった。他の旧町村にはなかったが、相知にはあったので、堂々と相知図書館を残すと書いて欲しい。市域に一つの配置をすると

いう短絡的な表現、相知だけ残すことは、難しいと判断された。相知は分室とするみたいなことでもいい。まだ改訂案なので入れてほしいとお願いしている。

【事務局等】

市の施設だが、教育委員会所管の施設なので、教育委員会としっかりと協議をした上で定めている。今現在、2月1日からパブリックコメントでホームページ、公民館、市民センター等に計画案を配置して、意見を募集している。意見を集約した上で、再度見直しが必要であれば協議し、改訂の決定版として示したい。

【委員】

検討委員会のこの場で意見が出たことについて、パブリックコメントと同様の考え方で十分に検討してほしい。

【事務局等】

図書サービス計画には、拠点を設け分室にするという記載がある。何らそこを制限するものではなく、公共施設再配置計画自体は、建物そのものの計画で、どこに、新庁舎の中、公民館等に設けるのか、そこを分室という形にするのかということを決めるものではない。地元に立派な図書館があり、なくなると寂しくなることは分かるが、相知図書館が耐用年数を経過し、解体しないとイケなくなれば、また同じものを建てるかというとな難しい。機能をどこに移転して、どういう名称にするかは、教育委員会と協議して進めていく。

【委員】

削減がこれだけ示されているので、複合施設として考えていくべき。図書館は機能だけ残していけば問題なく、建物のあるなしは関係ない。機能だけあればよい。庁舎の機能移転をするが、今の現在地と中山の相知交流文化センターは、浸水をする。そういうところにもう建て替えない。長期計画で建て替えとなっているが、この2箇所は絶対建てられないのか。

【事務局等】

浸水想定区域の危険性は、高台移転しないと物理的には解消しない。今回は、本館の老朽化と耐震性の安全性を考慮し、別館に移転する。今後、最適地を検討する中で市民センターを中心に検討がされていくだろう。この場所が相知地区のまちづくりの拠点であるので、他のところという考え方は、非常に厳しいと考えている。しかし、新庁舎は、建設して65年からそれ以上、維持していく施設となり、避難所としても利用することになるので、危険区域である以上は、別の場所を検討しないといけない。将来的に浸水想定区域の見直があるかもしれないが、現時点の考え得る計画である。

この再配置計画は、5年で見直す計画で5年後、10年後に状況が変わっていれば、庁舎の建設も前倒しするし、先延ばしするという可能性も出てくる。

【委員】

5年ごとに見直すから、建て替えがなくなる可能性もある。財政面や税収も少ない、今後の問題もあるので、建て替えが本当にできるのか。私は想定できない。人口が5千人、4千人と減少していくが、建物は50年も60年も対応できるものを建てる。その中で複合的に考えてもそんなに大きなものを建てられない。この場所からの機能移転は、確かに相知地区の真ん中だが、利便性、面積的に考えると、広い面積があり、建物も新しく、耐震のある相知交流文化センターがよい。あの施設の活用策を考えた方がよい。

【事務局等】

再編計画を立てる中で、市民センター管内の再編をどうするか大きな課題があった。将来を考えると証明書類は、コンビニや郵便局で発行でき、庁舎機能は縮小傾向にある。しかし、防災拠点としての機能と皆さんと相談しながら、まちづくりをしていくという機能は残していくべきもの。公共施設の再編が進むと、点在した老朽化施設は、廃止、解体していく。例えば、相知交流文化センターを相知のまちづくりの拠点にするということであれば、そちらに機能を集約していく。今後、本庁と市民センターと一緒に考えていく課題になる。

【委員】

平成29年9月の会議資料に来庁者の利用状況、浦の川スポーツセンターや図書館の利用状況が掲載されていたが、分かりますか。

【事務局等】

小さい数字は、分からないが、毎月2千人ほどの来庁者があり、会議資料の数字と変わらない。図書館は、把握していない。次回整理をして配布したい。

【委員】

本委員会で図書館は残すべきだという話があった。それが全く反映されないで教育委員会で決まり、庁舎機能をまちづくりの拠点にすると言いながら、図書館がそのままになっている。せっかく本委員会で意見が出たので、パブリックコメントと同じ要領で受け止めしてほしい。

【事務局等】

庁舎の目的は、地域の拠点であることは十分に認識している。先ほど委員から相知交流文化センターに移転した方がよいとの意見も将来的には出てくると考えられるので、それを全く排除しているわけではない。今日の会議は、本館が老朽化し、耐震を満たしていない。いつ何時、地震があれば耐えられる状況にないので、早急に改善を図りたいという意味。まずは本館より10年ほど新しい別館に市民センター庁舎の機能を移したい。建て替えは、今後、人口減少や将来的な課題を踏まえ、委員の意見を伺いながら、例えば、厳木と一緒に庁舎にするとか、将来いろんな動きが出てくるので、よりよい方向に持っていきたい。今回別館に機能移転したら、相知は何もしないということではなく、その後も十分に建て替えを検討していく方針としている。

【委員】

町内に恒常的な組織がいくつかあり、地区社協の会議に出席するが、まちおこしのことはそこそこで、公民館関係の行事その他は、公民館です。社協と公民館とここの庁舎とうまく連携がとれるようにできないか。みんなバラバラになっているような気がする。

【事務局等】

バラバラというか、建物がそれぞれ別れており、なかなか連携した活動がやりにくい。相知市民センター庁舎をどうするかだけでなく、全体的にどういうイメージを持って、将来やっていくのか。社協、公民館、老人憩いの家など全体的に相知地域の建物の配置を考える必要がある。非常に大きな課題だが、老朽化した建物が多くなっているので、今後そういうトータル的な視野で委員の意見を伺いながら、考えていく時期にきている。

【委員】

施設を統合すると縦割り行政が出てきて、お互いに綱引きが始まる。市が合併し、せっかくいい市になろうとしているけど起きている。再配置計画だけ出されても困る。そこまで配慮してほしい。施設運営に当たっては、そこも線は外し、もっと仲良くいくように、合併と一緒にです。統合する方針は分かりますが、何平米削減ってピンとこない。10件を5件にする。その件数を大体このぐらいにしたいと示した方がよい。

【委員】

建て直しができるかどうかもわからない。機能移転するなら、便利なところで、やはり長い目で見たら、あの施設が新しい中で、あんな面積を持って遊んでいる状況で、あそこに機能移転した方がよっぽどいい。庁舎建て替えが浸水想定区域内で建てられないなら、最終的に機能移転で終わる可能性が非常に強い。最初から相知交流文化センターに機能移転した方がいい。

【事務局等】

機能移転は、相知交流文化センターも考えた。ただ、相知交流文化センターあるいは相知町保健センター、保健師もいないし、利用率も低い状況というのも分かっているが、現時点でそちらに移転することが難しいと判断した。将来的には、相知交流文化センターに庁舎機能に移すことも考えられる。

【委員】

なぜ今無理

【事務局等】

相知町保健センターは、今の市民センターの機能の広さとして十分あるが、利用率が低いと言いながらも、保健センター機能として必要であると市では判断している。現時点でそこに移転することは、厳しいという判断に至った。庁舎改築は、移転で終わりではなく、別館も10年新しいと言いながら、50年ぐらい経っている。少し改修しても、あと30年も40年もというわけにはいかないの、本館との差、大体10年ぐらいを考えている。その間に、新たな改築や機能移転を判断していきたいので、今後、本委員会の委員に話をしていきたい。今日の会議は、別館に機能移転したいという説明

【委員】

相知交流文化センターへの移転の意見だが、全く取り入れできないのか。今のところは、隣の別館に移転することで話が進むのか。

【事務局等】

市の考え方として、そういう方針で進めたい。

【委員】

10年ぐらいでまた移転しないといけないなら、1年ぐらい慎重に検討して、新しいところで何十年も動かなくていい小規模の建物に移った方がよい。あの時、短絡的にとりあえず別館移転で話をしたとならなくていいように、しっかり話し合ったから30年先でもここにいられると言えるように1、2年の間で話が進むなら、そっちの方がよい。

【事務局等】

1、2年で話は進まない。特に長年続いたこの位置を変えとなると、単に本委員会だけの判断でなく、住民にもいろんな意見があるので、非常に時間を要する。その中で、この古い庁舎を何とかしないといけないので、まず機能移転という考え方に至っている。

【委員】

本委員会で方向性について、委員から意見を聞いた。時間を要してでも検討すべきであるという意見もあったが、機能移転で別館に移るという方向について、委員も賛成したということを委員長の採決で結論を出してほしい。

事務局等から説明があった、別館に移すことで、当面この老朽化の庁舎を回避するために別館に移す方向性で進むことを委員から賛同を得たというまとめにしてほしい。

【委員長】

今、委員から提案されたまとめ方にしたい。今の提案に対して賛成。反対という委員は意見を言ってほしい。いいですか。

事務局等から説明を受けた庁舎機能を取りあえず別館に移転する。将来的に違う考え方が出てくるかも分からないので、その時に話し合おうということ。いいですか。

【委員】

異議なしの声あり。

【委員】

決定した上で、別館に機能移転をした後の本館はどうするのか。建て替えが決まるまでそのままなのか。機能移転したら、早い段階で解体更地になるのか。

【事務局等】

本館は、機能を移転した後、建物を解体すると考えている。耐震も満たしていない、建築年数もかなり経過している危険建物となるので、解体し、跡地の活用を今後、意見を伺いながら、決めていく必要がある。

【委員】

機能移転の時期は、いつごろ予定してあるか。

【事務局等】

具体的に来年、再来年という計画自体は定まっていないが、短期計画が2027年までとなっているので、それまでには、機能移転したい。今後、具体的なスケジュールを検討していきたい。

(4) 閉会